

## 第7回 信州須坂まちの元気創出推進委員会

### 議事録

【日時】 令和5年1月19日（木） 13:30～15:30

【場所】 生涯学習センター（旧中央公民館）3階ホール

#### 【内容】

1. 開会
2. あいさつ
3. 全体進捗と今後の予定について
4. 議事
  - (1) 2022年度事業の中間報告
  - (2) 事業終了後について
  - (3) 規約改正について
5. その他
6. 閉会

#### 【出席者】

36名

(委員6名 市関係者18名 事務局5名 事業者6名 部会長・アドバイザー1名) 他傍聴人

#### 【資料】

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・2022年度事業内容
- ・追加資料
- ・事業図
- ・規約

## 【会議内容】

### 1. 開会

### 2. あいさつ 委員長

### 3. 全体進捗と今後の予定について

- 説明：事務局

- 質疑：なし

### 4. 議事

#### (1) 2022 年度事業報告

「文化振興」「回遊促進」「産業振興」の3部会で実施した事業内容について

##### ①文化振興事業

- 説明：委託事業者（長野経済研究所）

- 質疑：

(委員長)：質問はないか。非常に評判の良い事業だったため、国の交付金を使い何とか継続していきたい。

(文化振興部会長)：報告の通り、無関心層を関心層に変える一つのきっかけになったのではないかと。ただ期間が非常に短かったため、皆さんの意見を活かして、さらに高度化したものになっていくと良い。

##### ②回遊促進事業

- 説明：委託事業者（DMM.com）

- 質疑：

(事務局)：補足させていただく。6、7ページについて、市内の会社の入札が決定した。随時所管課と打ち合わせをしていきたい。

(市民環境部)：市内交通（日祝実証運行バス）運営事業に関して、ラッピングバスを今後どうするか。せっかくなので、ぜひ来年度以降市民バスの中で動かしていきたい。またシャトルバスとしても市内のイベントで活用すると、家族連れの利用が見込めるのではないかと。連携予算の中で少しグレードアップした部分がある。設備が足りない部分を整えさせていただいた。具体的には運賃箱、整理券、業務用無線、コロナ対策の設備を整えた。全体の事業費として増額した分を増やしていることをご報告させていただく。

(委員長)：プロモーション事業は終了しているということで良いのか。

(委託事業者)：終了している。

(委員長)：米子についてはどうか。5月に竣工式も行いたい。笠鉾会館の映像は、どういうものを流すのか。

(委員)：映像を流すことによって、回遊促進を進めることは重要だと考えている。

(委員長)：交流センターはどのように改装するのか。

(委託事業者)：畳部分を飲食スペースにする。

### ③産業振興事業

●説明：委託事業者

●質疑：

(委員長)：現在残っている事業はあるのか。

(委託事業者)：米子マップが最終段階に入っている。また地域エコシステムの IT 企業によるライブコマースで、フルーツ商品が 1 月頃、味噌商品が 2 月頃の配信を予定している。関係人口の最終発表会は 1 月 28 日に行われる。

(委員長)：インスタグラムキャンペーンで景品のぶどうを受け取った方の反応は、どのようなものだったのか。

(委託事業者)：反応は良かった。資料にある色とりどりのぶどうが、まさに投稿された写真だ。こういった多数の種類を楽しめる生産地は魅力的だといった意見もいただいた。また農園の来訪者にもアンケートを取ったが、同様に須坂のぶどうの多様性の魅力が高いという意見をいただいている。

(委員長)：地域エコシステムについて、シャインマスカットエールは販路が拡大したのか。

(委託事業者)：観光協会での販売や、新宿のバスあいのり 3 丁目 TERRACE などでの販売を開始している。

(委員長)：以上で 3 つの事業報告を終了する。

## (2) 事業終了後について

●説明：事務局

●質疑：

(委員長)：事業終了後について質問や意見をお願いしたい。継続する事業は青で示している。継続の可否についても意見を伺いたい。だいたいの事業は継続するが、アプリは運用できるのか。

(事務局)：運用できる。

(委員長)：状況を見ながら検討していきたい。他に質問はあるか。

(委員)：アプリの話について、5 年間運用するとあるが、どのくらいの人がアプリを取得しているか。数字はあるのか。

(事務局 (峯村))：約 3,000 名だ。

(委員)：アプリ内でリンクへ飛ばなくなったり、ホームページに繋がらないこともあり、変更ができればお願いしたい。

(事務局)：確認する。

(委員)：ラッピングバスについて、市民バスの名称を変えてはどうかという意見が出ていた。市外から来られる方が乗りにくいということもあったため、検討していただきたい。

(市民環境部)：市民バスも歴史の中で付けられてきた名称だが、回遊促進部会で意見が出されたということで、公共交通会議、公共交通計画の中で検討していきたい。

(委員)：まるごと電子ブックとアプリについて、同じものと捉えて良いのか。まるごと電子ブックは当初スマホをかざせば、説明が映り、それが拡大してクイズや、回遊の助けになるということだったが、現在のものは他のアプリに比べて魅力的とは言えない。私自身殆どアプリを見ていない。今後 5 年間実施するのであれば当初の予定を達成できるように進めていくことが大事ではないか。

(事務局)：まるごと電子ブックについては、2本立ての事業の総称として実施した。カメラをかざせば説明が出るが、実際には全てのスマホに対応していない。保守管理費用は5年間見ているが、改修費用は一部しか予算化していないため、大規模な改修は行うことができない。

(委員)：せっかくのものなので、できるだけ積極的に使えるようにし、回遊、文化振興に役立つようなものにしていただきたい。また笠鉾会館の新しい映像システムについて、壊れたらすぐ直すようにしていただきたい。せっかくあっても使えなければ意味がない。

(事務局)：電気系統が壊れてそのままだった。今後は壊れた状態が続かないように管理運営をしていきたい。

(委員長)：アプリについて利用者を増やすために、使い勝手を良くしていくことが重要だ。スマホによって使い勝手が違うため問題ではある。できるだけ利用者を増やすようお願いしたい。笠鉾会館については直すだけの価値はあるかということもある。せっかく良い事業があるため、全額に近い額が出て直すことになった。できるだけ長い間使えるようにしていきたい。

(文化振興部会長)：ロゲイニングは評判が良かった。文化振興部会の自分たちの活動をどこかに位置づけていただきたい。継続していただくことは大変ありがたい。さらに発展させていただければと考えている。

(委員長)：歴史や文化を知るには極めて良い。ゲーム感覚で楽しめる。拡大を考えていきたい。

(委員)：ロゲイニングについて、来年度から生涯学習推進課になるが、委託先はもう決まっているのか。

(事務局(荒井))：実施主体が少ないため、委託先は限られる。

(委員)：予算については、恋人の聖地の予算を使うのか。継続するにしても予算が必要だ。通常は3,000～4,000円の参加費がかかる。また2,000円で実施するのか。当面は同じ予算を使っていくのか。

(委員長)：その方向で考えているが、今後も継続していきたい。

(委員)：多くの人と、多くの予算を使って試行期間が終わった。これからが大事になる。ロゲイニングは参加者人数の多さ、少なさではなく、学習効果は見えないところにあると言われるため、人数にとられず、これからも続けていただきたい。

(委員長)：そのように進めていきたい。

(アドバイザー)：長野県内の市町村の支援をしている。事業の個々の判断は難しいが、プロモーションでせっかく作った動画は残すべきだ。閲覧数は経年で比較していくべきだ。積み上げが大事だ。他市を例にすると、ロゲイニングは現在市内参加者がメインだが、千曲市はワーケーションが盛んだ。その事業の中で働く以外の時間にロゲイニングを行うことも考えられる。働きに来ている人に須坂を知っていただくこともできる。千曲市を起点に各エリアに来た方を流す取組をしていた。他市との連携も進めてはどうか。

(委員長)：若い人が参加していることが珍しい。今後は市外の方にも参加していただけると良い。他市との連携も重要だ。

(委員)：それぞれの発表があったが、ぜひ実行していただきたい。私も努力していきたい。

(委員長)：いただいたご意見を参考に、事業を継続させていきたい。

### (3) 規約改正について

(事務局)：規約の改正、委員等への謝礼の支払いについて説明。

(委員長)：推進委員会の前回の開催から時間がたっているが、内容に問題ないか。承認として理解させていただく。

## 5. その他

### (1) 今後の予定について

- 説明：事務局
- 質疑：なし

6. 閉会

以上